

いきいきこめっこプロジェクト



『スケールメリットを活かした食育の推進』

1 実施目的

米子市では、ふるさとの魅力を伝え、「食べる楽しさ・学ぶ楽しさ」を子どもたちに届けることによって、いきいきとした豊かな心や郷土愛を育むことを目的に、市の総合計画と関連付けた『いきいきこめっこプロジェクト』に取り組んでいます。本市のスケールメリットを活かし関係機関や他課と連携し、学校給食を活用した食育の推進を展開しています。

2 令和6年度 年間事業計画



3 具体的な取組内容

7月 トライアスリート献立 【連携機関：鳥取県トライアスロン協会】



麦ごはん・牛乳・鉄人ドライカレー
フルーツ合わせ・コンソメスープ

※鉄人ドライカレー・・・アスリートに必要なたんぱく質、鉄分、カルシウムなど多く含む、牛肉や大豆、ひじき、ほうれん草、レーズンなど食材が入った米子市の学校給食に伝わるカレー。



教室での講演を
全クラスに
リモートで共有

本市が全日本トライアスロン大会発祥の地であることから、毎年7月の大会開催に合わせ、市内の中学校11校でトライアスリートと交流しています。地域に根ざしたスポーツの振興と、生徒の食への関心を高め、食育の推進を図るとともに、トライアスロンの普及啓発を行いました。中学校では、トライアスリートと一緒に給食を食べながら、体作りと食事の関わりや夢を持つことの大切さなどを教室や校内放送などで話していただきました。



10月 ガイナーレ献立【連携機関:ガイナーレ鳥取・こども施設課】



麦ごはん・牛乳・ガイナーレ丼・勝ち星☆サラダ
星の米粉マカロニスープ・ガイナーレ

※選手にアンケートをとり、栄養士と一緒に考えた献立。アスリートに必要な栄養素を組み合わせるだけでなく、星型のチーズや米粉マカロニでチームを応援する気持ちを込めている。



試食会



当日の給食時



中学校玄関前大型テレビ



給食後の休憩時間

公園遊び

地元のプロサッカーチームである、ガイナーレ鳥取と、こども施設課事業（校庭芝生化事業）と連携し、スポーツへの関心と米子市への関心を醸成することを目的に実施しています。



大きくなあれ!
ガイナーレ

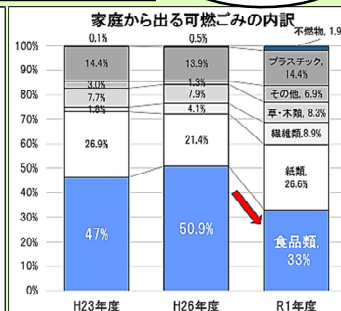
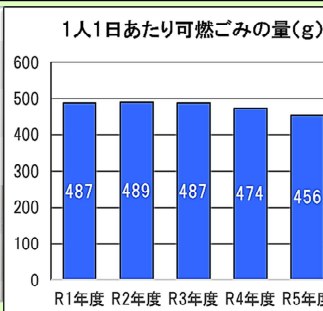


※ガイナーレと一緒に作成した「ガイナーレ」のふた

10月 食品ロス削減献立【連携機関:クリーン推進課・こども施設課】



星空舞ごはん・牛乳・おろしソースハンバーグ
おからサラダ・豆腐の味噌汁



10月の食品ロス削減月間に合わせ、食品ロス削減の日である10月30日に食品ロスに配慮した献立を小中学校と公立保育園に提供しています。同時に、できるだけ皮を薄くむいたり、残食を少なくする啓発を行っています。



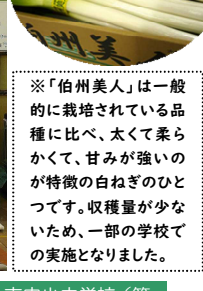
12月 ふるさと献立（伯州美人）【連携機関:JA鳥取西部農協】



星空舞ごはん・牛乳
ますの塩焼・千草和え・じゃぶ煮



生産者による授業



※「伯州美人」は一般的に栽培されている品種に比べ、太く太く太く、甘み強いのが特徴の白ねぎのひとつです。収穫量が少ないため、一部の学校での実施となりました。

今年度G1登録された、米子市のブランド「伯州美人」を白ねぎ改良協会の補助金を活用し、市内小中学校（第二学校給食センター、弓ヶ浜共同調理場の受配校）に提供しました。普段の給食では味わうことができない地元食材を使った給食メニューを子どもたちに提供することにより、地元への意識・関心を高め、ふるさとへの愛着を養うことを目的に実施しました。当日は生産者の方から、栽培にかかる苦労などをお話していただきました。

11・12月 国際交流献立【地域振興課国際交流室】



星空舞ごはん・牛乳・タッカンジョン
ムナムル・ブデチゲ

※国際交流員と作成した献立。実施前には事前に試食していただき、味付けや調理法などそれぞれの食文化を取り入れるアドバイスをいただいている。



国際交流員による国際理解講座

- 実施国
- 韓国（米子市姉妹提携都市）
 - 中国（米子市友好都市）
 - ・ジャマイカ（2020東京オリンピック・パラリンピック）
 - ・スペイン・ドイツ・コスタリカ（2022FIFAワールドカップ）
 - ・オーストラリア（ライフセービング）
 - ・チリ・サモア・アルゼンチン（2023ラグビーワールドカップ）
 - ・フランス（パリオリンピック）
 - ・台湾（米子⇄台湾便開通記念 ※R7実施予定）

国際的な行事の開催国や、米子市にゆかりのある国の料理を「国際交流献立〇〇編」として提供し、外国の食文化への理解を図っています。国際交流給食の啓発ポスターは、地域振興課に作成していただいています。韓国、中国については国際交流員と一緒に献立を作成しています。当日は、学校に訪問していただき、授業や児童生徒と試食。訪問校以外については、事前にCD音源を配布し、給食放送等で市内全児童生徒に国際理解を深める取組を行っています。



国際交流室が作成したポスター。国際交流献立はLINEレアウトで統一